

上毛新聞(じょうもうしんぶん)

大阪・水死体で発見、高崎出身の医師 遺族が真相究明訴える「自殺とは考えにくい」

[2021/03/10 06:00]

大阪市西成区の木津川で2009年11月、群馬県高崎市出身の医師、矢島祥子さん＝当時(34)＝の水死体が見つかった事案を巡り、矢島さんの遺族が9日、上毛新聞の取材に応じた。大阪府警は殺人事件も視野に捜査を進め、府議会でも取り上げられたが、事態は進展していない。矢島さんの父、祥吉さん(77)は「遺体の状況などから自殺とは考えられず、警察の対応には歯がゆい思いがある。12年がたつが、引き続き真相究明に努めてほしい」と訴えている。

捜査状況などに関し、8日の府議会本会議で川岡栄一氏(公明)が一般質問。

答弁に立った井上一志府警本部長は「『犯罪の疑いあり』と考えて捜査しているが、『犯罪である』ということを確認に断定できる状況には至っていない。事件と事故の両方の観点から捜査している」と述べた。

遺族は矢島さんが事件に巻き込まれた可能性が高いとして、現在も大阪でのビラ配りなど情報提供を呼び掛ける活動を行っている。8日の府議会本会議を傍聴した母の晶子さん(76)は「真実が明らかになるまで、活動を続けたい」と語気を強めた。